

水道事業会計[水道課 所管]

1. 概 要

令和 5 年度の業務の状況は、給水人口 44,089 人、給水量は前年度に比べ 0.6%減の 5,220,501 m³を供給し、1 日最大給水量は 15,565 m³、1 日平均給水量は 14,264 m³であった。

事業収益総額は 1,216,181,867 円で、うち給水収益が前年度比 0.3%減の 1,017,851,587 円となり、事業費総額は、前年度比 0.5%減の 1,077,855,649 円となった。

業務給水量については、給水量が前年度比 0.6%減であり給水人口の減少及び 1 人あたりの水道水使用量(原単位)の増加によるものである。有収水量は 0.2%減となり、有収率は前年度比 0.3%増の 88.2%であった。

給水戸数は 204 戸の増加であったが、給水人口は 568 人の減少となった。今後給水人口はさらに減少する見込みであるが、施設の老朽化もあり、安定的な給水のため、需要に応じた管網及び施設整備をさらに進めていかなければならない。

經常利益は、前年度比 1.2%減の 138,276,705 円となり、これに特別収支の 49,513 円を加えた当年度純利益は、前年度比 1.5%減の 138,326,218 円(前年度純利益 140,391,960 円)となった。

また、資本的収入額が資本的支出額に不足する額 376,264,107 円は、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 291,380,636 円、過年度分損益勘定留保資金 84,883,471 円で補てんした。

建設改良事業については、市街地の既存消火栓の老朽化に伴い 4 基の更新工事を行った。また、今後の濁水及び水質管理対策として、配水管・配水小管内の排水のための排泥弁及び仕切弁を 70 基設置した。

配水管・配水小管整備については、市街地を中心に道路改良工事等に伴い、延長 3,612.8mの配水管・配水小管の布設工事を行った。

令和 5 年度末現在の住民基本台帳人口 52,211 人に対する水道普及率は、84.4%で前年度より 0.8 ポイント減少した。

なお、今後の水道事業については、人口減少による事業収入の減少や老朽化水道施設の更新に伴う支出増が見込まれるなかで、水道事業の経営改善(コストの縮減と収入の確保)が必要不可欠である。

※概要内の金額は、全て税抜となっています。

2. 収益の収入及び支出

(収 入)

(単位:円・税込)

区 分	決 算 額
第1款 水道事業収益	1,326,867,770
第1項 営業収益	1,177,603,448
第2項 営業外収益	149,214,809
第3項 特別利益	49,513

(支 出)

(単位:円・税込)

区 分	決 算 額
第1款 水道事業費	1,176,612,705
第1項 営業費用	1,097,245,565
第2項 営業外費用	79,367,140
第3項 予備費	0

3. 資本の収入及び支出

(収 入)

(単位:円・税込)

区 分	決 算 額
第1款 資本の収入	7,169,000
第1項 企業債	0
第2項 国庫補助金	0
第3項 工事負担金	0
第4項 負担金	7,169,000

(支 出)

(単位:円・税込)

区 分	決 算 額
第1款 資本の支出	383,433,107
第1項 建設改良費	161,367,667
第2項 企業債償還金	222,065,440
第3項 予備費	0

4. 業務の状況

事 項		令和5年度	令和4年度	比 較	
				増 減	増減率
年度末	給水人口	44,089 人	44,657 人	△ 568 人	△1.3%
〃	給水戸数	18,426 戸	18,222 戸	204 戸	1.1%
年 間	給水量	5,220,501 m ³	5,251,810 m ³	△31,309 m ³	△0.6%
〃	一日平均給水量	14,264 m ³	14,389 m ³	△125 m ³	△0.9%
〃	有収水量	4,606,239 m ³	4,615,593 m ³	△9,354 m ³	△0.2%
〃	一日平均有収水量	12,585 m ³	12,645 m ³	△60 m ³	△0.5%
〃	有収率	88.2%	87.9%	0.3%	0.3%